



Child
Friendly
Cities
Initiative

unicef 
for every child

ユニセフ日本型

『子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）』

安平町は、令和3（2021）年12月17日、ニセコ町・宮城県富谷市・東京都町田市・奈良県奈良市とともに、日本で初めてのCFCI実践自治体となりました。

『子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）』って何？

皆さんは、1989年に国連が世界各国に提案し、日本では1994年に世界各国と約束を結んだ『子どもの権利条約』というものをご存じでしょうか？

CFCIは、子どもに一番近い存在である市町村（安平町などの地方公共団体）が、この約束を守っていくための活動のことです。

特長は、そこに住む大人たちと同様、子どもたちもまちづくりに参加してほしいと考えるところです。つまり、子どもたちは大人たちに「守られる対象」ではなく、「ともに考える対象」としてみるということです。

C h i l d

頭文字をとって「CFCI」と呼ばれます。

F r i e n d l y

また、「子どもにやさしいまちづくり事業」として日本語

C i t i e s

訳があてられています。『子どもの権利』を前提として取

I n i t i a t i v e

り組むものです。

安平町が考えるCFCIとは？

『子どもの権利』を基本として、子どもたちがまちの活動に積極的に参加し、子どもたちの意見も聞きながら進めていく、つまり「子どもが当たり前で意見できるまちづくり」「子どもたちとともに考えるまちづくり」を目指していきたいと考えています。

これは、大人たちをないがしろにするということではありません。

例えば、高齢者の方やしょうがいのある方にやさしいバリアフリーは子どもたちや妊婦の方にやさしいように、『子どもたちにやさしければ、みんなにやさしいまち』を目指すという決意を表すものです。